



～自他共栄～ NO.23

2025年1月29日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

1月28日、全国青年部は本社折衝を行ないました。この間の取り組みを通じて挙げられた職場の青年部員の声や職場実態を基に、以下の4項目について会社に求めました。

青年部本社折衝実施!

青年部折衝項目

2025年 1月28日

JR貨物労組青年部

1. 職場の実態を踏まえた要員を配置されたい。

- (1) 職場の実態に即し、技術継承を見据えた適正要員配置の実施と、毎年の充実した新規採用を継続されたい。
- (2) 地元採用を増やし、広域転勤を解消されたい。

2. 人事制度、評価制度を改善されたい。

- (1) プロフェッショナル職群の昇格・昇級ポイントを改善されたい。
- (2) 育児休業取得推進のため、育児休業取得に伴う評価ポイントへの反映について改善されたい。

3. 職場環境の改善を早急にはかられたい。

- (1) 老朽化設備を改善されたい。また、全国の老朽化設備の改善スケジュールを明かされたい。
- (2) 制服等を改良されたい。

4. 諸制度、福利厚生について以下の通り実施されたい。

- (1) 若年退職防止として、5年目・10年目褒賞を設けられたい。
- (2) 家族手当を基準内賃金に含まれたい。
- (3) 全国の老朽化した寮・社宅の改善・更新を実施されたい。
- (4) 運転士、検修社員への鳥獣対応手当を新設されたい。
- (5) 帰省旅費の年齢制限および距離制限を緩和されたい。

以上

1. 職場実態を踏まえた要員を配置されたい。

各業種で要員不足の中、技術継承や業務がままならない状態。広域転勤、出向先から戻れない人もいる。新規採用の充実を継続的に行ない、職場実態に即した要員と採用の確保を求める！

2. 人事制度、評価制度を改善されたい。

プロフェッショナル職群におけるR1→R2への受験条件である28ポイントは高すぎる！子どもを産みやすい・育てやすい会社とするために設けた、育児休職制度によって、キャリアに影響が出るのはおかしい！

3. 職場環境の改善を早急にはかられたい。

老朽化設備の改善について、スケジュールを示すべきである。老朽化による設備不具合は思わぬ労災が起こりかねない。職場からは不安の声が上がっている。女性設備の増設も含めて計画性をもってこれらの設備改善を実施されたい！

4. 諸制度、福利厚生について以下（（1）～（5））の通りに実施されたい。

就職希望者にも選ばれる魅力あるJR貨物会社とすべく、離職防止の対策として諸手当の拡充、寮・社宅の老朽化に伴う修繕と更新を求める！22春闘で会社から出された標準生計費の理論で言えば家族手当は基準内賃金に入れるのは当然だ！

将来にわたって青年部員が働ける、安全・安心な職場環境の整備や制度の実現にむけ、会社に強く改善、整備を求めてきました。これからも、職場の声を基とした要求で闘い、実現にむけて取り組んでいきます。

職場の不満は職場でとどめず
より良い労働環境の整備にむけ
青年部は共に声を上げ続けよう！